

／もつと知りたい！／

せいちょう

いっしょう

# アユの成長と一生

アユは川で生まれ海へ下り、そして再び川へと生活する場所を変えて成長します。

また、一生を一年で終えるため、「年魚」とも呼びます。

季節ごとに違った魅力があふれるアユについて、詳しくなっちゃおう！

## 夏

大きく成長した成魚は、コケをはき取るように食べるため、餌を食べる場所に縄張りを作ります。他のアユが縄張りに入ると、体当たりして追い払います。  
＼コケを食むのに丁度いい口なんだ！／



## 秋

繁殖の準備ができたオスとメスは体が黒くなり、「さびアユ」と呼ばれます。産卵を終えた親は死んでしまいます。



卵は親が掘った砂利の中に産み落とされます。



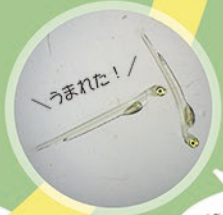
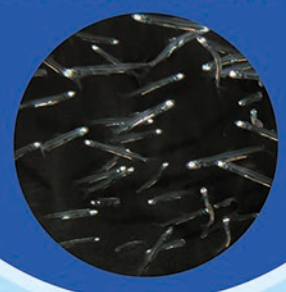
## 春



海で成長した幼魚は、生まれた川を上ります。川で成長するにつれて、石に生えたコケを食べる藻類食になります。

## 冬

海で生活するために川を下ります。このころのアユは、プランクトンや水生昆虫を食べて成長します。



仔魚がおよそ2週間で卵から出てきます。

ほうりゅうかい  
放流会のアユはこのあたり！  
これから那珂川でおお  
大きくなるよ！